

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)ヴェルディ東原1丁目			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	3.4
1 音環境					3.0	0.15	3.2	1.00	3.2
1.1 騒音			住戸のサッシはT-1を基本とする Dr-50 Lr-45		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.5	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0			1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-			-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-			-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音					1.0	-	1.0	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温		3.0			0.63	-	-		
2 外皮性能		3.0			0.38	3.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		-			-	-	-		
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	4.0	1.00	3.9
3.1 昼光利用			居室に対して開口の大きいサッシを採用している		3.0	0.43	4.0	0.50	
1 昼光率		-			-	5.0	0.50		
2 方位別開口		-			-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0			1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策					-	-	4.0	0.50	
1 昼光制御		カーテン、庇を組み合わせる制御		-	-	4.0	1.00		
3.3 照度					3.0	0.21	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.36	-	-	
4 空気質環境					3.2	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			住戸内建築材料はほぼF☆☆☆☆を使用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0			1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策		-			-	-	-		
4.2 換気					2.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0			0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9
1 機能性					2.2	0.40	3.2	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ			住戸内LAN対応配管、光ケーブル対応としている		1.0	0.57	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		-			-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-			-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画		1.0			1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					4.0	0.43	2.0	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画		共用部は美観に努め、住戸内は利便性を高める		4.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理					-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震			劣化対策等級が等級2相当である		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0			0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		4.0			0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-				

2.4	信頼性		情報設備機能の多様化を図る	2.4	0.20	-	-	2.8
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.8	1.00	2.8	
3.1	空間のゆとり		天井高確保のため階高を2.86～2.96mに設定している	-	-	2.6	0.50	2.8
	1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
		2		空間の形状・自由さ	-	-	2.0	
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	3.0	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.20	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 1.03	3.7	0.50	-	3.7	
3.1	集合住宅以外の評価(3a.3b)		1.0	-	-	-	3.7	
	集合住宅の評価(3c)		3.7	1.00	-	-		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	3.0	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-		
		4.2	運用管理体制	-	-	-		-
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-		
		4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-		-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1	節水		4.0	0.40	-	-	3.0	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-		
1.2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	2.4	
	2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-		-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	2.6	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6	
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	2.5	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70	-	-		
	1	消火剤	-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-		
	3	冷媒	2.0	0.50	-	-		
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-		-
1 地球温暖化への配慮			計画においてある程度の条件を満たす	4.7	0.33	-	4.7	
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	2.0	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減	-	-	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-		
3.2	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	2.7	
	3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-		-
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	2.7	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-		
		2	振動	-	-	-		-
		3	悪臭	-	-	-		-
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-		
	1	風害の抑制	1.0	0.70	-	-		
		2	砂塵の抑制	1.0	-	-		-
		3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-		-
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		